

# さいたま市教組新聞

編集・発行/  
さいたま市  
教職員組合  
〒330-0843  
さいたま市大宮区  
吉敷町4-93-5  
大宮教育会館2F  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
2019.2.8(金)  
No. 245

## GSなど多方面にわたって実態を訴え 具体的改善を要求

市教委交渉

### 要検討！大宮国際中等教育学校の入試内容

タイムレコーダー導入後の勤務改善やGS（グローバルスタディ）科問題などをめぐって、1月17日（木）に対市教委交渉が行われました。（要求書は裏面に掲載）

#### 勤務実態を把握し 業務適正はかる

まずこの交渉で、市教委は、学校業務改善検討委員会において、「閉庁日の設置とタイムレコーダーの導入で業務改善を図ってきた」が、さらに「業務全体の2割削減をめぐしている」ことを明らかにしました。

また、タイムレコーダーの導入については、「学校による計測方法のばらつきを正す」ことも明言しました。具体的には、計測方法について「土日の出勤を記録していない学校もある」という実態を組合が出すなかで、市教委は、「土日も記録すべきだし、引率などで記録できないときは月曜に加えるなど、実際に働いた時間は1分でもきちんと記録してほしい」と回答し、出勤時刻を客観的に把握していくとしま

した。

市教組は、非常勤職員を含めた全職員の勤務時間の適切な把握と、その勤務時間実態の公表やそれに基づく具体的な業務軽減を今後さらさらに求めていく予定です。

#### 代替者の確保、他県・他市の例研究する

ついで、病休や産休などの代替者確保について、市教組の方から、同じ政令指定都市の神戸市が仕事がなくとも給与を払って雇用する「先読み加配」を100人確保したり（兵庫

県は「見なし加配」）、川越市が代替者を「スクールボランティア」として市費で定数内臨探35人雇用したりしている例などを提示して、抜本的な取り組みを要求しました。これについて、「市教委としても様々な努力をしている」また、「代替

者のプール制などは予算が伴うので「困難」との回答でしたが、「他県や他市の例は研究させてもらう」との回答を得ることができました。

代替不在で現場が過重な負担を強いられているにもかかわらず、何年も同じ答弁を繰り返して、問題を事実上放置してきた責任は逃れることはできません。具体的な研究結果を求める交渉を今後も続けていくつもりです。

#### 大宮国際中等教育学校の入試内容把握せず

把握せず

さらに、GSについて、その指導内容や専科人員の確保などを質しましたが、専科配置については、「予算要求中なので配置数はいえない」と全校配置を明言しませんでした。また、現在市が使用しているテキストについて、2年後の国の英語教育導

入時には、小5・6年は資料として使っていくことを明らかにしました。さらに指導内容や授業時間の改善については、具体的な検討がされる見通しを持っておらず、あいまのままです。

GSに関連して注目すべきことは、「大宮国際中等教育学校」の入試問題です。入試科目に英語が入っていますが、それは「現在行っているGSの内容よりかなり難しい」という話が受験生から出ています。そのことを指導1課に質しましたが、「高校教育課の管轄であり、指導1課でその内容

を把握していない」ことが判明。縦割り行政の問題点が浮き彫りになりました。

選抜については、「第1次選抜・適性検査A」で「グローバル・スタディの授業で身に付けた知識を活用し、適切に判断する力をみます」とし、「第2次選抜・集団活動」では「小学校のグローバル・スタディで身につけたコミュニケーションをするために必要な力をみます」としています。ここでみるとおり、入試内容はあくまでも小学校で行ったGSが元になっています。入試内容が指



導してきたGSの内容を超えようとするものであるとしたら、それは大きな問題といえます。仮にそうでなくともGSを所管する指導課が入試内容のチェックに関わっていないのは無責任極まりません。2月中旬に入試内容が公開されるとのことですが、それを詳しく検討し、さらに市教委との交渉を煮詰めていく予定です。

#### 「小体連は任意団体」と、関わりを否定

次に小体連の新年会への動員と高額参加費について市教委の指導を要求しましたが、市教委は「任意団体」との認識を崩さず回答を避けました。

市教委は毎年教育長以下多数の幹部がこの催しに参加しており、関わりが深い団体です。管轄下の教職員がこの団体の問題を訴えている以上、任意団体のことなので関係はないと済ませるのは責任逃れに等しいことです。両者は指導・被指導の関係はないにせよ、何らかの形で意見を伝えることはできるのではないでしょうか。今後とも小体連との話し合いも視野に入れ、改善を要求していきます。

# 教職員の多忙化解消・施設設備改善・教育条件整備等を求める要求書

2018.11.8

1. トップダウンの施策(205日、GS、1030時間、「良い授業」アンケートなど)を見直し、教職員の創造性、各校の独自性を活かした教育活動ができるようにすること。
2. 現場における人員不足の原因をどのように考えるか明らかにすること。病休者や妊娠者、育児短時間勤務者の代替者、体育代替者並びに後補充者をすみやかに配置すること。市独自で予算化を図り、ただの呼び掛けに留まらず、賃金や待遇の改善、直ちに配置ができるようこれまでにない手立てをとること。
3. 学校業務改善検討委員会の議事録を明らかにすること。昨年度配布されたパンフレット以降の検討内容とこれまでの成果を明らかにすること。昨年度配布されたパンフレット以降の話し合いの内容を教職員に知らせること。構成メンバーに組合代表を加えること。
4. 市立小・中・高等学校の30人学級を早期に実現すること。当面、小学3年と中学3年で35人学級を実現すること。
5. 時短勤務者非常勤再任用者やSAにもタイムカードをもたせ、全職員の勤務時間把握を行うこと。また、勤務時間調査の結果を公表すること。
6. 老朽化の激しい校舎等の改修を行うこと。また「学校リフレッシュ計画」の計画と進行状況を明らかにすること。また、特別教室、体育館にエアコンを設置すること。
7. 「グローバルスタディ科」の授業時間と内容を国の基準に合わせ、減らすこと。長年さいたま市のGSに貢献されたSA、ALTの処遇を考慮しつつ、GS専科を全校に配置すること。GSの全校アンケート結果を公表すること。学校間格差を是正すること。
8. パワーハラスメントの相談件数とその解決数を明らかにすること。パワーハラスメントの相談窓口を市教委だけでなく、新たに第三者機関を設置し、パワーハラスメントの絶無を期すこと。
9. 図書館教育の充実のため、学校図書館司書を正規職員として雇用すること。特に雇用保険の問題を改善し、雇用確保に努めること。
10. 初任者の勤務時間を明らかにすること。初任者が子どもと触れ合う時間の確保、校務に携わる時間の確保等を考慮して、初任者研修の軽減等を行うこと。また、2年次研修は実施しないこと。
11. 多忙化解消のため、研究指定校並びに研究委嘱校を削減すること。任意団体である市教研の委嘱研究が、各校の負担にならないよう、市教委として指導すること。市教研のような任意団体による研究委嘱校の数の把握とその数の削減を指導すること。
12. 文部科学省が実施する「平成31年度全国学力・学習状況調査」(以下全国学力テスト)には参加しないこと。参加の有無について教育委員会で審議して決めること。全国学力テストを実施した場合、結果の公表は市としても、学校単位でも行わないこと。また、さいたま市学力状況調査を中止すること。少なくとも小6中3の調査は止めること。
13. 大宮地区で行われている駅伝大会をはじめ、小学校の教育課程に含まれていないスポーツ行事は、子どもの安全、子どもと教職員の負担軽減のためにも中止すること。指導要領に示されていない長距離競走における事故が起こった場合の責任の所在をどのように考えているのか委員会の立場を明らかにすること。
14. 教育長以下、委員会幹部が多数参加する小体連の新年会への数を挙げた若者の動員と高額な参加費について、委員会としての立場を明らかにし、改善を指導すること。
15. 「心と生活のアンケート」は中止を含め、抜本的な見直しを行うこと。学期はじめの面談時間の確保を委員会として行うこと。
16. 「教育相談週間」や特活の時間での「いのちの支え合い」の授業の押しつけをやめること。
17. 再雇用者、臨時採用者に対し、人事評価シートの提出を求めないこと。
18. 出勤簿を無くすこと。長年さいたま市のGSに貢献されたSA、ALTの処遇を考慮すること。
19. 養護教諭のフルタイム以外の再任用形態を設置すること。
20. 安全衛生委員会を設定する規準となる50人の職員を常勤職員のみでなく非常勤も含めて教え、安全衛生委員会を設定すること。基準の50人に満たない学校では、関連するいくつかの学校を統括して安全委員会を行えるよう検討すること。

## No.244 新春お楽しみパズル 解答と当選者

1 E		2 c	3	4	5
ラ	◆	ボ	ウ	シ	バ
6 D	7	a	キ	◆	8
ジ	ユ	ウ	◆	◆	ア
	ウ	シ	◆	10	◆
	ル	◆	◆	◆	A
	◆	11	12	13	◆
	◆	ユ	イ	ウ	◆
	◆	◆	◆	◆	◆
	◆	14	ベ	◆	15
	◆	ガ	◆	◆	ス
17 B		18	b	19	
マ	ン	ド	リ	ル	◆
					ン
		20			
		C	ア	ツ	カ
		ク			◆

a~dをつなげると

a	b	c	d
う	り	ぼ	う



A~Eをつなげると

A	B	C	D	E
や	ま	く	じ	ら

この二つの単語から連想される4文字のことは

イ	ノ	シ	シ
---	---	---	---

でした。

抽選による当選者は、

- 浦本厚子さん(新開小)
- 岡直美さん(慈恩寺小)
- 荒井つや子さん(OB) の3名でした。

図書券(1000円分)をプレゼントいたします。